

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
11002	X-01/21-A-1-110023	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年	
ジェンダー論	矢口 裕子			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年	

授業目的

ジェンダーとは、生物学的・肉体的性差と区別して、社会的・文化的に構築される性差を指す。ジェンダー論は1980年代以降一般化した新しい学問であるが、人として生まれたものであれば、年齢・人種・階層を問わず誰もが関わらざるをえない問題を多く含んでおり、2015年にはアメリカ全土で同性婚が合法化されるなど、グローバルな課題となっている。いる。本講義では、ジェンダー論を各自が自分の問題として捉えたとともに、批判的かつ建設的な眼差しをもって向きあう姿勢の構築を目指す。最新の学問的動向にも目を配りつつ、理論一辺倒にならないよう、理解の一助としてオーディオ・ヴィジュアル資料も適宜用いる予定である。

各回毎の授業内容

第1回 【授】イントロダクション 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第9回 【授】ジェンダーと暴力② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第2回 【授】言葉とジェンダー 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第10回 【授】男性学の位相 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第3回 【授】フェミニズムからジェンダー論へー歴史と理論① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第11回 【授】メディアのなかのジェンダー① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第4回 【授】フェミニズムからジェンダー論へー歴史と理論② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第12回 【授】メディアのなかのジェンダー② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第5回 【授】セクシュアル・マイノリティ① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第13回 【授】ジェンダーとアート① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第6回 【授】セクシュアル・マイノリティ② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第14回 【授】ジェンダーとアート② 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第7回 【授】セクシュアル・ハラスメント／ドメスティック・ヴァイオレンス 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第15回 【授】まとめ 【前・後】総復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）
第8回 【授】ジェンダーと暴力① 【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）	第16回 【授】レポート 【前・後】レポート作成（予習復習に4時間）

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							90
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

授業内に随時課す少レポート、コメントへの講評

教科書参考書

授業中に指示する。

受講に当たっての留意事項

出席のための出席は意味がない。というより、本人・他の学生・教員にとってマイナスにしかならない。私語は厳禁。自分が欠席した授業の内容・そこで伝えられた情報は自己責任で回収すること。

学習到達目標

ジェンダー論の基礎概念・歴史的経緯を学ぶとともに、自分の生き方にかかわる問題としての意識が身につく。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習